

2020（令和2）年度 入学者選抜試験問題

一般入試Ⅱ期

国語総合（近代以降）（60分）

注意事項

1. 監督者の指示があるまで問題を開かないでください。
2. 問題冊子は15ページあります。ページの落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、無言で手を高く挙げて監督者に知らせてください。
3. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号、氏名をそれぞれ正しく記入してください。
4. 解答は、次の（例）を参考にし、解答用紙の解答欄にマークしてください。

（例）解答番号1に対して、⑤と解答する場合

解答番号	解答欄
1	① ② ③ ④ ⑤

5. 解答用紙に正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 訂正箇所は、消しゴムできれいに消してください。
7. 解答欄には、関係のない符号や文字あるいはメモなどを記入しないでください。
8. 解答用紙を折ったり汚したりしないでください。
9. 声を出して問題を読んではいけません。
10. 不正行為について
 - ①不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ②不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が直接注意します。
 - ③不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
11. 質問のある場合や気分が悪くなった場合は、無言で手を挙げて監督者に知らせてください。
12. 問題用紙は持ち帰ってください。

国語

(解答番号は ～)

□ 次の文章を読んで、後の問い(問1～6)に答えよ。解答番号は ～ 。

「^{りんげん}緘言汗のべことし」ということばがあります。高い地位にある人のことばは重いものであり、口からいつたん出たことばは汗と同じでもう戻すことはできない、という意味ですが、一度発したことばをなかつたことにできないのは、地位や身分に関係ありません。公的な場面では、形式的に発言を撤回することはありますが、これは手続き上、その発言がなかつたと扱うのであつて、誤解や偏見を含んだ発言であれば、そういう考えの持ち主だという印象を周囲の人が抱くことまではとめられません。発言の撤回は、そうしないと話し合いが(ア)滞^とるため(イ)便宜^{べんい}上やむをえず行うことが多く、その考えを捨てたり認識を改めたりするとは限りません。

何かの信念や主義・主張があつて、その正当性を信じているのであれば、それについて批判があつても議論を戦わせればいいわけですが、特に強い信念や主張を反映させたわけではなく、なにげなく言つたことや内容が問題になることもあります。油断していて発してしまった発言もあるでしょうし、そもそも準備や知識が不足していたために問題になるとは予測できなかったものもあるでしょう。いずれにせよ、公的な場面で発言する場合は、失敗なく終えたいと誰しも思うものですし、本質的でない議論は生産的でも建設的でもないことからできるだけ避けたいと思うのが自然なことです。

発言が正しく理解されていても、批判を受けることはあります。批判されても、それは見解の相違にすぎないので、変えるつもりも撤回するつもりもないというのなら、ことばの危機管理は必要ありません。私的な論争なら、多くの場合、見解や信条の違いはことばのレベルではそれ以上の問題にはなりません。もちろん、それが物理的なトラブルに発展したときには危機管理は必要ですが、そのときには、ことばの危機管理として対応するような平時の状況ではなくなります。発言によつて事態の悪化を招かないこと、発言とその後に対応によつて可能な限り收拾することが、ことばの危機管理の目的だと言つていいでしょう。無用な疑念や遅滞状況を回避することも前者には含まれます。

伝達手段としての言語は完璧ではありません。誤解されることや正しく理解されない事態は誰しも避けたいものです。また、正しい理解に基づいて批判や非難が生じるならばまだしも、誤解に基づいて批判されても、それにそのまま反論や説明をしたところで話がかみ合わなくな

ります。聞き手が誤解していることを指摘して、誤解を正すのも、A 相手と友好的な関係が できている場合と対立的な状況になっている場合では、対応を変えるべきことも少なくありません。対立的な状況では、誤解を正してもらおうとするだけで、誤解を指摘された側が感情的になることもあります。誤解の指摘を攻撃だと受け止めるからです。【I】

こういう場合は、「誤解があるようなので、説明し直します」などと、多少婉曲的^{べんきよく}に言ってもあまり効果はありません。この言い方では「ようだ」を使って断定を回避しているのが婉曲化ですが、「あなたに」は省略されているものの、それを復元すると「あなたに誤解がある」のようになり、誤解している人を相手に特定する言い方になります。例えば、「わかりにくい言い方だったので誤解される方も多しとは思いますが」のようにすれば、相手が誤解したと特定することなく、誤解することは珍しいことではないと述べて、さらに、その原因の(ウ)一端が自らの表現の「わかりにくさ」にあることを認めた言い方になるので、相手の誤解を直接責める形にはなりません。

もちろん、気をつけてことばを選んでも表現の違いに関係なく、自分の誤解を指摘されたと感じて相手が感情的になることもあるでしょう。【II】しかし、論争や言い合いなど対立的な状況では、相手の攻撃に(エ)過剰に敏感になるのはよくあることですから、非難の意味合いがほとんどない表現を選んでも、その背後に非難のおいをかき出して、それに反応することは予想できることです。これは、言語不信の現れとも言えますし、ことばそのものよりも B を探ろうという意図とも言えます。感情的になっていることからわかるように論理的な推論ではなく、ときには C 反応になることさえあります。【III】これは、相手の了見や精神状態によって個別に違いますから、表現する人間は、表現にできるだけ問題がないように注意するしかありません。

このように、誤解を(オ)指弾^{さしう}することに目的があるのではなく、誤解を正してもらおうことが大事だとわかっていても、不注意から相手を誤解する方向に導いてしまい、本筋から脱線してしまうことは得てして起こりがちです。【IV】友好的な会話であれば、互いに空気を読みつつ、配慮をしますから、会話は予定調和的に流れていくことが多いのですが、対立的な状況では、会話の流れを管理することは難しいものです。しかし、ことばの使い方、表現の微妙な違いで、望ましくない展開や無駄な対立が回避できるのであれば、できる限りそのようにことばを運用すべきでしょう。それが「ことばの危機管理」なのです。

(加藤重広「ことばの行き違いと誤解」〈『誤解の世界』所収〉より。

本文中に一部省略したところがある。)

問1 傍線部(ア)～(オ)の漢字の読みとして最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は と 。

- | | | | | | |
|-----|--------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| (ア) | <input type="text" value="1"/> | ① おこた | ② さしさわ | ③ しぶ | ④ とどこお |
| (イ) | <input type="text" value="2"/> | ① びんた | ② びんき | ③ べんぎ | ④ べんじ |
| (ウ) | <input type="text" value="3"/> | ① いちたん | ② いったん | ③ ひのはし | ④ いちはし |
| (エ) | <input type="text" value="4"/> | ① かきよう | ② かじゆう | ③ かじよう | ④ かりよう |
| (オ) | <input type="text" value="5"/> | ① しだん | ② したん | ③ ゆびだま | ④ ゆびびき |

問2 傍線部A「相手と友好的な関係ができている場合と対立的な状況になっている場合」とあるが、聞き手の誤解を指摘して誤解を正す場合、「友好的な関係ができている場合」と「対立的な状況になっている場合」とでは、どのように違いと筆者は考えているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 前者の場合は、聞き手が場の雰囲気や話し手のことばなどから、誤解を正したいだけだという状況を察して、話し手の話に耳を傾けてくれるが、後者の場合は、聞き手が誤解しているということを伝えるだけで、聞き手が感情的になることもあるので、話し手の思うようには会話が進まない。
- ② 前者の場合は、聞き手も話し手も空気を読みながら、互いに気を遣い合って会話をするので誤解もすぐに解けるが、後者の場合は、話し手がどんなに工夫をして話しても、聞き手が素直に聞かず、誤解があつたと伝えるだけで、聞き手が感情的になつたりして誤解は全く解けない。
- ③ 前者の場合は、話し手と聞き手が相互に自分の非を謝りながら和やかに会話が進み円満解決するが、後者の場合は、話し手が表現を工夫して自分の非を謝る形で話を進めても、聞き手が攻撃されたと再び誤解してしまうので、話がますます混乱して収拾がつかない状況に陥る。
- ④ 前者の場合は、相互理解ができていたので言い方を工夫しなくてもほぼ話し手の予想通りに会話が進むが、後者の場合は、話し手が望ましくない展開や無駄な対立を回避しよう意識し、努力して話をして、聞き手が最初から聞く耳を持っていないので険悪な雰囲気で会話が空回りする。

問 3 空欄 B・C に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 7。

- ① B 手の内 C 強迫観念的な
- ② B 腹の内 C 不安におびえた
- ③ B 言外の真意 C 被害妄想的な
- ④ B 相手の悪意 C 猜疑心さいぎしんに満ちた

問 4 次の一文は本文から抜き出したものである。これを戻す位置として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 8。

話がこじれるとはこういう事態です。

- ① 【I】 ② 【II】 ③ 【III】 ④ 【IV】

問 5 次に示すのは、本文を読んだ後に、四人の生徒が本文の内容について話し合っている場面である。本文の趣旨と異なる発言を、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 9。

- ① 生徒 A —— 「婉曲」って、「はつきり言わずに、遠まわしに表現すること」だよ。日本語では婉曲な言い回しが昔からよく使われていたと先生から聞いたことがあるよ。それも無用なトラブルを避けるためなのかもね。
- ② 生徒 B —— 確かに。例えば「誤解があるので……」と言ってしまうとその場の空気が悪くなりそうなときに、「誤解があるようなので……」と言うよ。でも、親しい友人だったら「誤解だよ」などと、断定的に言ってしまうこともあるね。
- ③ 生徒 C —— それって、筆者のことは借りると「友好的な関係ができている場合」に使えることばだね。「親しき仲にも礼儀あり」ということばはあるけれど、筆者が言うように、「ことばの危機管理」が必要なのは対立的な状況のときだけだと思う。
- ④ 生徒 D —— それにしても、冒頭の「綸言汗のごとし」ということばは初めて知った。ことばで失敗した人が昔もたくさんいたんだろうね。公的な場でも私的な場でも、気をつけて話さないといけないなって、つくづく思ったよ。

問 6 この文章の内容に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は

10

。

- ① 公的な場面で失言をした場合、話し合いを円滑に進めるために形式的に発言を撤回することがあるが、そうではなく、本当に本心から失言だったと反省して撤回したとしても、そういう発言をしたというイメージは払拭されないので、特に政治家など高い地位にある人は発言に注意しなくてはならない。
- ② 議論における失言には、深い意味はなく、なにげなく言ったもの、油断から発してしまったもの、議論に参加するための準備や言語知識が不足していたためのものなどがあるが、その失言が問題視され議論になってしまうのは誰しも避けたいものなので、「ことばの危機管理」はそういう意味からも必要である。
- ③ 「ことばの危機管理」は、こちらの真意を相手に正しく理解してもらい、感情的な反発や対立を無駄に招くことを回避したい場合には必要なものであるが、互いの見解や信条の相違があることを了解したうえで議論の場合は、発言の内容が正しく伝わるのが重要であり、「ことばの危機管理」は必要ない。
- ④ 会話や議論における無用な疑念や本論の中断を回避するなど、発言によって事態の悪化を招かないこと、事態の悪化を招いた場合は発言とその後に対応によって可能な限り收拾することが、ことばの危機管理の目的だが、ことばの使い方や表現の工夫が必要なので、日本人の表現の癖に関わる知識を身につけるとよい。

二 次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。解答番号は ～ 。

環境に適応するため、合理的な能力を身につけた。生命は極めて可変的なのだ。生物学はいつもそういう風に生命のふるまいを説明する。もう少し正確に説明するなら、進化論的な言葉が使われる。すなわち、たまたまそのような能力を身につけた種が、自然淘汰のフィルターによって選択され、生き残っていったのだと。さらに、進化の単位を遺伝子のレベルで考えると——突然変異が遺伝子上に起きて形態や行動に変化が生み出され、変化が環境に対して有利なものであった場合、その変化をもたらした遺伝子が（ア）フクセイされるチャンスが増えることになる——、このような説明になる。

（注1）細胞性粘菌の遺伝子もまた長い進化の時間をかけて、すこしずつ環境のフィルターをくぐり抜け、巧みな生活様式を発現できるような遺伝子が選ばれて今日に至っている。生命は極めて柔軟なのだ。そんな風に説明される。でも、私は、生命のやわらかさを必ずしもAそういう意味で考えているわけではない。

細胞性粘菌はもともと個人主義。フリーランスの生活を営んでいた。できるだけ他人と関わらない。ある意味でうらやましい生き方。食っていくことさえできればそれでいい。そして次世代を残すためには細胞分裂をすればよい。

ところがひとたび環境が悪化して食料不足になると、一転して個人主義を捨て、協力するようになる。このとき重要な論点は、集まってきた個々の粘菌細胞はもともとフリー生活者だったから、その遺伝子はすこしずつ違うものである、ということ。それがイツ（イ）升団結して巨大移動体を作り出し、そして（注2）子実体を作り出す。もともと個人生活者だった細胞たちは、このとき、ある者は土台となり、ある者は柄となる。でもそれらは最後には（ウ）クち果てて、いくつかの幸運な者だけが孢子となって次の世代へとつながれる。

誰が何になるのかは巨大な多細胞集団の内部でたまたまどこに位置したかという偶然によって決まる。つまりここでは利己的なはずの遺伝子は、利他的にふるまっている。 。

アリやミツバチの世界では、同じ遺伝子を共有する兄弟姉妹の間で、共有する遺伝子を次世代に残すためにこそ利他的行為があるという物語が成立する。利他的なのは、結局、利己的遺伝子の生き残り戦略だ。でも細胞性粘菌の場合は、集まってきた細胞たちは、兄弟姉妹ではなく、同じ粘菌とはいえ、もともとは赤の他人なのである。それでも彼らは集合し、協力し、利他的にふるまう。生命には、ときとしてそういうやわらかさがある。私が好きなのは、そして、もつと知りたくなるのは、生命のそういうやわらかさなのである。

ウーパールーパーを覚えていますか。小さな目とおちよぼ口のとぼけた丸い顔。赤ちやん体型に短い手足。首にまたいたフリル（実はエラ）。大人になりきれないイモリの仲間。イモリはカエルと同じ（エ）リョウセイ類だから、ほんらいは幼体のうちは水中でエラ呼吸、おとなになると肺呼吸になって陸上でも生活できるようになる。

ところがこのウーパールーパー（ほんとうの名前は、アホロートル。これも微妙な名前だが）は驚くべき柔軟性の持ち主なのだ。手や脚がちぎれても、すぐに生えてくる。手や脚だけではない。身体のどんなところでも——内臓やたとえ脳の一部であつても——、再生することができるのである。いったいどうしてこんなに柔軟なのか。

どうやらウーパールーパーの白いぷよぷよの身体の中にはたくさんの万能細胞が隠れているらしい。ちょうどiPS細胞やES細胞のように何にでもなりうるけれど、何にもならず足踏みしている細胞。それがいったんユトあれば活動を開始するのである。

これに比べると私たち人間は、ちつともやわらかくないじゃないか。そう思う方もいるかもしれない。C 私たちヒトの身体の作られ方はかなりきちんと固まっている。細胞性粘菌のようにベン（オ）ゲン自在でもないし、ウーパールーパーみたいに再生能力が高いわけでもない。

D 私たちヒトも粘菌やウーパールーパーに負けず劣らず、E それ以上に、やわらかい生命体なのである。いったいどこが？ それは外からは見えないところ。

ヒトで直接実験することができないので、ヒトと同じ目と視神経を持つ動物を使って行った実験。すごく残酷なのだが、目が形づくられる過程で、片方の眼球を摘出してしまふ。するとどうなるか。残っている方の目から入力される情報を処理する脳の領域が大幅に広げられ、神経細胞の配線が組み替えられ、片方の損失を補おうとするのである。しかも、このような臨機応変は、目が形成され光の刺激が入ってくる子どもの期間のごく一時期にしか起こらない。

私たち人間に極めて長い子ども時代が用意されている意味もこのあたりから見えてくる。F 子どもの心がやわらかいのは決して比喩ではない。

生命にはこんな可変性と柔軟性がたくさんある。むしろこのやわらかさの方が生命の本質だと思えてくる。

（福岡伸一『やわらかな生命』より）

（注） 1 細胞性粘菌 —— 粘菌（下等菌類の一群）の一種。

2 子実体 —— 菌類の生殖体で、胞子を生じる器官。

問 1 傍線部 (ア) ～ (オ) に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

(ア) フクセイ

- ① 趣味を兼ねたフクギョウをする
- ② 名画のシユウフク作業を依頼する
- ③ 彼はフクガンの考察ができる
- ④ 祖母はキフクに富んだ人生を送った

(イ) イツチ団結

- ① ユーモアたっぷりのヒツチが好きだ
- ② 人工骨チカン手術が成功した
- ③ 大切な会議にチサンする
- ④ 編集長のチグウを得て、文壇に紹介される

(ウ) クち果てて

- ① キユウユウの地を訪れて感慨にふける
- ② 試験の結果はキユウラクすれすれの感だ
- ③ キユウチヨウ懐に入る
- ④ フキユウの名作と呼ばれる

(エ) リヨウセイ類

- ① 毎年、ノウリヨウ会が開かれる
- ② リヨウキョクの思想に触れる
- ③ 郊外のキユウリヨウ地まで出かける
- ④ ヨウリヨウを得ない話し方だ

(オ) ヘンゲン自在

- ① 祖父は父よりもなおゲンカクだった
- ② 外の世界へのゲンソウを抱く
- ③ ヌウゲンな調べに酔いしれる
- ④ ゲンダイアートを鑑賞する

問2 傍線部A「そういう意味」とあるが、どういう意味か。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 自然界に生き残っている生命体の遺伝子は、長い進化の時間をかけて、形態や行動の変化が自分たちが生き残ることができる環境に対して有利になるように、突然変異を繰り返してきたものたちであるという意味。
- ② 自然界に生き残っている生命体の遺伝子は、偶然進化して環境に選ばれたものたちや、突然変異が起きて生み出された形態や行動の変化が、環境に対して有利だったものたちであるという意味。
- ③ 自然界に生き残っている生命体の遺伝子は、たまたま環境を変化させる能力を持っていたものたちや、たまたま突然変異で環境に選択されるように形態や行動が変化してきたものたちであるという意味。
- ④ 自然界に生き残っている生命体の遺伝子は、生活様式を自由に変更できるという理由で選ばれ、長い進化の時間をかけてすこしずつ環境のフィルターをくぐり抜けてきたものたちであるという意味。

問3 空欄 B に入る表現として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 17。

- ① 単細胞として生活できないのだから、多細胞として生き延びるしかない
- ② たまたま位置した場所次第なのだから、運命として受け入れるしかない
- ③ 仲間のうち誰かが助かればよくて、自分自身は犠牲になってもよい
- ④ 共有する遺伝子が助かれば、自分の遺伝子はどうなってもよい

問4 空欄 C と E に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 18。

- ① C たしかに D でも E あるいは
- ② C しかし D しかも E むしろ
- ③ C つまり D むしろ E さらに
- ④ C もちろん D しかし E しかも

問5 傍線部 F 「子どもの心がやわらかいのは決して比喩ではない」とあるが、どういふことか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 19。

- ① 私たちヒトの身体の作られ方はかなりきちんと固まっているが、子どもの期間のごく一時期に、目から入力される情報を処理する脳の領域が大幅に広げられて臨機応変に対応するように、子どもは大人よりもやわらかい身体を持っているということ。
- ② 目が形成され光の刺激が入ってくる子どもの期間のごく一時期に、子どもは目から入力される情報を臨機応変に処理するという柔軟な対応ができるという意味で、子どもの能力は本当にやわらかいと言いうことができるということ。
- ③ 目が形成され光の刺激が入ってくる子どもの期間のごく一時期に、子どもの脳は残された目から入力される情報を処理する領域を広げるなど臨機応変に対応することができるという点で、子どもの脳は実際にやわらかいのだということ。
- ④ 私たち人間には極めて長い子ども時代が用意されているが、それは子どもが立派な大人になるために精神を鍛える大切な準備期間であって、その時代に、身体だけでなく精神的にも成長するという意味で、子どもには可変性と柔軟性があるということ。

問 6 この文章の主題の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 。

- ① 生命の柔軟性については、遺伝子の突然変異と進化から説明されるのが一般的だが、個々の生命体においても、状況の変化に応じて利他的になったり、失われた機能を補ったりする柔軟性が発揮される。
- ② 合理的な能力を身につけ、環境の変化に適応した遺伝子だけが生き残るという自然淘汰のフィルターをくぐりぬけることで、巧みな生活様式を発現しながら、極めて柔軟に生命は存続している。
- ③ やわらかい生命体である細胞性粘菌と同様に、ヒトもやわらかさに本質が宿っているため、何にでもなりうるiPS細胞、ES細胞は人類の進化の鍵を握る存在であり、研究を進める必要がある。
- ④ 細胞性粘菌などの驚くべき柔軟性は外見からも見て取れるが、実は外から見えないところにこそ生命の本質はあり、その生活様式を発現できるような環境を整えることが現代に求められている。

三 次の問い（問1～7）に答えよ。解答番号は ～ 。

問1 次のア～ウの文の説明にあてはまる語句を、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

ア 意義をおしひろげたり、わかりやすく言い換えたりすることで説明すること。

- ① 拡散 ② 咀嚼 ③ 敷衍 ④ 寓言

イ 二つの物事の間には矛盾がない様子。

- ① 対称 ② 整合 ③ 弁別 ④ 合理

ウ 思想・行動などを制約している観念のこと。

- ① ドグマ ② モチーフ ③ アイデンティティ ④ イデオロギー

問2 次の文の空欄に入る語句を、後の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

平等が達成されると、に人々は他人との差異を求めようになるだろう。

- ① 逆説的 ② 仮言的 ③ 帰納的 ④ 術学的

問3 次の文の空欄「ア」・「イ」に入る語句を、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

敬語のうち、話し手がへりくだることによつて、相手への敬意を表すものを「ア」という。例えば「行く」の「ア」は「イ」である。

ア ① 尊敬語 ② 謙讓語 ③ 丁寧語 ④ 美化語

イ ① みえる ② いらっしゃる
③ うかがう ④ お出でになる

問4 次の各文のうち、敬語の使い方が正しいものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① お口に合うかわかりませんが、どうぞいただいでください。
② 各国の名画を集めた絵画展はもうご覧になりましたか。
③ 校長先生のおっしゃったことが、今も心に残っている。
④ 先輩がお勧めしてくれた参考書は大変わかりやすかった。

問 5 次の文の中の連体詞を、後の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

すぐにあらゆる文献を調べた。

- ① すぐに ② あらゆる ③ 文献 ④ 調べ

問 6 次の文の傍線部の文節どうしの関係と同じ関係の二文節を含む文を、後の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

時々間違えて、家にある本を買ってしま^う。

- ① 観葉植物を玄関に置くのはどうだろうと、家族に持ちかけた。
② 実のところ、兄と私は、今まで一度も喧嘩^{ひんか}をしたことがない。
③ ネット上に存在する情報は真偽を精緻に確認する必要がある。
④ 山頂にたどり着けば、そこには素晴らしい景色が待っている。

問 7 次の文の傍線部 A～Cのうち、接続助詞はいくつあるか。最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

久々の休日だ。Aでも、何の予定もない。映画Bでも見に行こうかと考えたが、今から映画館に向かっ^てCてもよい席は空いていないだろう。

- ① 一つもない ② 一つ ③ 二つ ④ 三つ

四 次の問い（問1～5）に答えよ。解答番号は ～ 。

問1 次のア～ウの四字熟語の空欄に入る漢字を、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

- ア 年満作
- ① 往 ② 豊 ③ 祭 ④ 曆
- イ 秋 烈日
- ① 雲 ② 雨 ③ 霜 ④ 暑
- ウ 隱忍
- ① 自重 ② 顕現 ③ 多難 ④ 平伏

問2 次のア・イの故事成語を説明した文の空欄に入る語句として適当なものを、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

- ア 「小さな人物は大きな人物の考えを知ることができない」という意味を表す故事成語を、「燕雀安んぞ鴻鵠の を知らんや」という。
- ① 志 ② 大望 ③ 謀 はかりごと ④ 苦悩
- イ 「弟子が自分の師匠を越え、優れているという名声」を表す故事成語を、「 の誉れ」という。
- ① 勸学 ② 凡知 ③ 出藍 ④ 晚稻

問3 次のア・イの慣用句を含む文の空欄に入る語句を、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ・ 。

- ア 信じていた友人に裏切られ、 を飲まされた気分だ。
- ① 大毒 ② 煮え湯 ③ 押っ取り刀 ④ 縫い針
- イ ライバル校に随分と をあげられてしまった。
- ① 目 ② 甕 かめ ③ 水 ④ 蒙 もろ

問4 次のア・イの意味に最も近い慣用句を、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

解答番号は ・ 。

ア 威張る

- ① 笠かさに着る ② 大風呂敷を広げる ③ 我に返る ④ 大見得を切る

イ お願いをする

- ① 熨斗ししを付ける ② 恩に着る ③ お百度を踏む ④ 雁首がんくびを揃そろえる

問5 慣用句の使い方が正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 提出すべきレポートを三本も抱えていて首が回らない。
② 彼は最近、テレビで人気のアイドル熱になされている。
③ 彼女とはお互いに何でも話し合える気の置けない間柄だ。
④ 大学の友人と角突き合わせて仲良く一晩中議論した。